



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年7月3日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 小野寺 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平山 直樹 (TEL) 03 (3518) 1900
 経営戦略局担当
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	8,523	△7.2	1,672	25.4	1,677	25.7	1,149	27.0
2019年8月期第3四半期	9,187	△0.1	1,333	△35.4	1,334	△35.3	905	△35.4

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 1,149百万円(27.0%) 2019年8月期第3四半期 905百万円(△35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	64.58	64.55
2019年8月期第3四半期	50.86	50.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	20,627	18,459	89.4
2019年8月期	19,993	17,665	88.3

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 18,450百万円 2019年8月期 17,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	△9.5	1,510	△10.9	1,510	△11.1	1,020	△12.0	57.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) ー 、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期3Q	17,804,032株	2019年8月期	17,804,032株
2020年8月期3Q	137株	2019年8月期	137株
2020年8月期3Q	17,803,895株	2019年8月期3Q	17,803,544株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が次第に改善し、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調を見せておりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「新型コロナウイルス」といいます。）の影響により急速な悪化に転じ、極めて厳しい状況にあります。今後は感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げられていくことが推測されますが、当面、厳しい状況が続くと見込まれます。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の77.1%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で99.4%と微減、BS放送の広告費においては、前年比で101.1%と微増で推移しております（「2019年 日本の広告費」(株)電通調べ）。なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国内外の経済活動に対する不透明感が急速に拡大し、景気の急速な減速懸念が高まっており、当社でも感染拡大防止を目的とした番組制作の一部中止に伴う再放送やアーカイブへの差し替え、出展を予定していた国内イベントが中止される等大きな影響を受けております。番組制作においてはソーシャルディスタンスの確保を目的とし、リモート収録を行っており、過去に制作・放送したアーカイブ素材を活用した再編集版を制作することにより、感染拡大の防止と視聴者需要の充足を両立させるべく邁進しております。

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、「豊かで癒される教養・娯楽番組と中立公正な報道・情報番組を発信し『価値ある時間』を約束します」との経営ビジョンに基づき、良質な番組制作に引き続き邁進いたしました。

2020年4月の番組改編では、良質な自社制作番組と外部リソースの最適なミックスによる視聴世帯数の更なる増加を目的とし、子供向けアニメ枠「キッズアニメ∞（むげんだい）」を新設、4月からは世界119か国で放送中の大人気アニメ『ミラキュラス レディバグ&シャノワール』を放送開始、また『Anison Days』『アニゲー☆イレブン!』に続くアニメ関連自社制作番組『虹のコンキスタドルが本気出しました!？』はキングレコードと共同制作、他にも1月よりスタートさせ好評を博しているアジアドラマ枠を3枠に拡大いたしました。

また、人気歌手である八代亜紀さんが豪華ゲストと共に楽しいトークと素敵な歌をお届けする『八代亜紀 いい歌いい話』、人気声優和氣あず未さんを三代目MCに迎え更にパワーアップしリニューアルした『アニゲー☆イレブン!』、アニメソング番組の『Anison Days』等の人気番組、世界最大級のドキュメンタリーチャンネルから厳選した内容をお届けする『ディスカバリー傑作選』については内容を更に充実させて放送いたしております。

さらに特別番組では、ローカル局とのコラボレーション番組『京都夜桜生中継2020～画家たちも愛した日本のこのころ～』を京都放送と共同制作し放送、昭和を彩った大スターたちの名曲、秘蔵トークをピックアップした『あのスターにもう一度逢いたいSP～令和に伝えたい昭和歌謡～』を放送いたしました。

アニメファンから根強い人気を誇る『ANIME+』枠においては、『宝石商リチャード氏の謎鑑定』、『理系が恋に落ちたので証明してみた。』、『インフィニット・デンドログラム』、『へやキャン△』、『TVアニメ「22/7計算中」』、『ドロヘドロ』、『イド：インヴェイデッド』、『ダーウィنزゲーム』、『プリンセスコネクト！ Re:Dive』ほか、アニメ関連番組を放送いたしました。2020年4月クールにおいては新型コロナウイルスの感染拡大に伴い当初放送を予定していたコンテンツが放送延期になるなどアニメコンテンツにおいても新型コロナウイルス感染の影響は大きく、今後も一定期間影響は出るものと推測しております。

費用面につきましては、前述のとおり番組制作を一部中止し再放送番組等へ差し替えたことにより番組関連費用等原価が抑制されたほか、番組宣伝のための施策としての広告出稿を効率的に実施する等、従来以上にコストコントロールに努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 8,523,078千円（前年同期比 7.2%減少）となりました。営業利益は 1,672,811千円（前年同期比 25.4%増加）、経常利益は 1,677,601千円（前年同期比 25.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,149,769千円（前年同期比 27.0%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ634,779千円増加し、20,627,827千円（前連結会計年度末比3.2%増加）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が480,284千円減少したものの、有形固定資産のその他（純額）に含めて表示している建設仮勘定が522,720千円、現金及び預金が437,644千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ158,912千円減少し、2,168,270千円（前連結会計年度末比6.8%減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が113,306千円増加したものの、返品調整引当金が12,330千円減少し、流動負債のその他に含めて表示している未払金が256,852千円減少したものの等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ793,691千円増加し、18,459,557千円（前連結会計年度末比4.5%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当356,077千円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,149,769千円の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2020年4月8日付の「2020年8月期 第2四半期決算短信」で公表しました業績予想から変更ありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業への影響につきましては、今後も注視しつつ、業績予想やその他の要因を含め公表すべき事実が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,324,583	10,762,228
受取手形及び売掛金	2,261,507	1,781,223
たな卸資産	296,105	355,844
その他	55,213	52,792
貸倒引当金	△140	△140
流動資産合計	12,937,270	12,951,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,324,703	2,502,338
土地	4,034,756	4,034,756
その他（純額）	240,610	693,032
有形固定資産合計	6,600,071	7,230,127
無形固定資産	85,793	71,680
投資その他の資産	369,911	374,071
固定資産合計	7,055,777	7,675,879
資産合計	19,993,047	20,627,827
負債の部		
流動負債		
買掛金	518,232	510,747
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	11,100	4,675
未払法人税等	175,201	288,507
返品調整引当金	41,390	29,060
その他	982,606	737,261
流動負債合計	2,228,530	2,070,251
固定負債		
長期借入金	1,900	—
退職給付に係る負債	75,726	78,529
その他	21,025	19,489
固定負債合計	98,651	98,018
負債合計	2,327,182	2,168,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,936	4,183,936
資本剰余金	3,517,726	3,517,726
利益剰余金	9,955,192	10,748,884
自己株式	△143	△143
株主資本合計	17,656,712	18,450,404
新株予約権	9,153	9,153
純資産合計	17,665,865	18,459,557
負債純資産合計	19,993,047	20,627,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	9,187,624	8,523,078
売上原価	4,759,464	4,178,989
売上総利益	4,428,159	4,344,088
販売費及び一般管理費	3,094,227	2,671,277
営業利益	1,333,932	1,672,811
営業外収益		
受取利息	47	51
その他	5,066	8,345
営業外収益合計	5,114	8,396
営業外費用		
支払利息	4,315	3,029
その他	65	576
営業外費用合計	4,380	3,605
経常利益	1,334,666	1,677,601
税金等調整前四半期純利益	1,334,666	1,677,601
法人税、住民税及び事業税	398,532	526,195
法人税等調整額	30,670	1,636
法人税等合計	429,203	527,831
四半期純利益	905,463	1,149,769
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	905,463	1,149,769

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	905,463	1,149,769
四半期包括利益	905,463	1,149,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,463	1,149,769
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。